

2020年度鳥取大学大学院連合農学研究科(博士課程)
菌類きのご資源利用科学特別プログラム(博士後期課程)
編入学生募集要項

鳥取大学大学院連合農学研究科は、鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科、島根大学大学院自然科学研究科及び山口大学大学院創成科学研究科の農学系専攻の修士課程と附属施設を母体として編成され、各構成大学の研究科と密接な連携協力のもとに運営されている。

菌類きのご資源利用科学特別プログラムは、鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科農学専攻(博士前期課程)から継続して菌類きのご資源科学に関する研究を行う外国人留学生を受け入れるプログラムである。2020年度には特例的に、博士後期課程から受け入れる編入学生(国費留学生)を下記により募集する。

I. 目的

菌類きのご資源利用科学特別プログラムは、菌類きのご資源利用科学に特化した高度な教育と研究を行うことにより、菌類きのご資源利用科学研究を推進することのできる人材養成を図る。

II. 専攻分野及び募集人員

1. 専攻分野：菌類きのご資源利用科学に関する研究分野で、鳥取大学大学院連合農学研究科の主旨指導教員予定者に研究指導が受けられる者であれば、何れの分野であってもよい。
2. 募集人員：大学推薦による国費外国人留学生(日本政府(文部科学省)奨学金留学生) 3名
(注)国費外国人留学生については、応募者の中から候補者を選考し、文部科学省へ推薦する。

III. 出願資格及び条件

- (1) 国籍：日本国政府と国交のある国のものを有し、新たに海外から留学する者(日本国籍を持つ者は除く。)
- (2) 年齢：1985年4月2日以降に出生した者
- (3) 学歴：修士の学位を取得した者又は2020年9月までに取得見込みの者
- (4) 健康：心身ともに大学院における学業に支障がないこと。
- (5) 語学力：研究指導等は主として英語で行うことから、英語能力が十分であること。
- (6) 渡日時期：2020年10月1日から10月7日までに必ず渡日可能な者
- (7) 査証取得：渡日時に「留学」の査証を必ず取得していること。
- (8) 鳥取大学(構成大学を含む。)との大学間交流協定に基づいて大学から公式に推薦を受けた者、又は鳥取大学(構成大学を含む。)との交流実績のある大学の学長又は部科長相当以上の者から公式の推薦を受けた者であること。
- (9) テレビ会議システム等を用いて、対面式により、口頭試問委員による口頭試問を受けることができる者
- (10) その他：次に掲げる者については推薦しない。
 - ① 現役軍人又は軍属の資格の者

- ② 指定の期日に渡日できない者
- ③ 過去に国費外国人留学生であった者で、その奨学金支給期間終了から3年間経過していない者
- ④ 日本政府（文部科学省）以外の機関（自国政府機関含む。）から奨学金等を受給する者
- ⑤ 本奨学金における他大学との重複申請、日本政府（文部科学省）及び（独）日本学生支援機構が実施している留学生を対象とした支援制度、日本政府（文部科学省）以外の機関（自国政府機関を含む）からの奨学金と併給する者。（これまで日本政府（文部科学省）及び（独）日本学生支援機構が実施している留学生を対象とした支援制度により採用され、引き続き、2020年度の10月期の学期以降も在籍、または在籍予定の者も含む。）
- ⑥ 2020年度に私費外国人留学生として本邦大学に在籍予定の者
- ⑦ 直近の2年間の学業成績が文部科学省の定める水準を満たさない者。（詳細については、主指導教員予定者に確認すること。）
- ⑧ 海外でのインターンシップ、フィールドワーク等を希望する者
- ⑨ 学位（修士）取得見込みで出願した者で、2020年9月までに取得できない者は、採用を取り消す。
- ⑩ 申請時に二重国籍者で、渡日時までに日本国籍を離脱したことを証明できない者
- ⑪ 申請時から日本以外での研究活動（インターンシップ、フィールドワーク等）や休学等を長期間予定している者。
- ⑫ 学位取得を目的としない者

IV. 応募手続

応募者は、下記の書類を2020年1月17日（金）から1月30日（木）の間に、希望主指導教員を通して鳥取大学農学部連大学務係に提出すること。

- (1) 2020年度鳥取大学大学院連合農学研究科菌類きのこ資源利用科学特別プログラム（国費外国人留学生）入学願書（様式第1号） 正本1部
- (2) 日本政府（文部科学省）奨学金留学生申請書 正本1部（両面印刷）
- (3) 専攻分野及び研究計画（別紙） 正本1部
- (4) 健康診断書（最近6か月以内に受診したもの） 正本1部
- (5) 誓約書（所定の様式） 正本1部
- (6) 志願理由書（英文により1,200語程度で記載し、所定の表紙（様式第3号）を付けること） 正本1部
- (7) 最終出身大学院の修了証明書及び学位記又は修了見込証明書 正本1部
- (8) 最終出身大学院の成績証明書（出身大学の発行したもの。英語以外のものは英文訳を添付） 正本1部
- (9) 最終出身大学院において最上位クラスに属することを証明する学業成績 [例、GPA、ABCのクラス分け、具体的な順位（何人中第何位）等、最終出身大学における成績が明確に判る指標を明記したもの] 正本1部
- (10) 修士論文等
 - (A) 修士課程修了者

- (a) 修士論文の写（論文がない場合は、これに代わるもの） 写し 1 部
- (b) 修士論文の概要（A4 用紙に、英文により 1, 2 0 0 語程度で記入。所定の表紙（様式第 4 号）を使用）。 正本 1 部
- (B) 修士課程修了見込みの者
- (a) 研究経過報告書（A4 用紙に、英文により 5, 0 0 0 語程度で記入（図表を含む）） 正本 1 部
- (b) 研究経過報告書の概要（(A)–(b)に準じて作成、所定の表紙（様式第 4 号）を使用） 正本 1 部
- (11) 本人の戸籍身分を証明する書類（例えば、パスポートや本国の戸籍謄本） 写し 1 部
- (12) 所属大学等の研究科長レベル以上の推薦状（鳥取大学学長あてのもの） 正本 1 部
- (13) 個人推薦書（申請者と個人的交流があり、さらに申請者の教育研究に対して保証できる指導教授又はそれに準ずる責任ある教員からの推薦書）（様式は A4 版で任意とする。） 正本 1 部
- (14) TOEFL、TOEIC、IELTS、国連英検、ケンブリッジ英検、実用英語技能検定試験等のいずれかの英語能力を客観的に示す成績証明書 写し 1 部
（上記以外の英語能力を証明する成績証明書を提出しようとする者は、願書出願前に連大学務係へ相談すること。）
- (15) 日本政府（文部科学省）奨学金留学生申請書の項目 14 に記載した著書、論文等のコピー 各 1 部
- (16) 写真（最近 6 か月以内に撮影したもので、上半身、正面、無帽、裏面に国籍及び氏名を記入し、1 枚（4.5cm×3.5cm）は入学願書に、2 枚（4.5cm×3.5cm）は日本政府（文部科学省）奨学金留学生申請書の所定の場所に添付のこと。）

【注意事項】

- ① 申請書類は、すべて英語により出来るだけタイプを用いて作成すること。申請書類は連合農学研究科ホームページ(<http://rendai.muses.tottori-u.ac.jp/japanese/recruit/index.html>)よりダウンロードが可能である。
- ② 上記申請書がすべて完全かつ正確に記載されていない場合、付属書類が完全に揃っていない場合、又は提出期限が過ぎたものについては受理しない。
- ③ 応募者は、テレビ会議システム等を用いて、対面式により入学試験（口頭試問）を受けること。
- ④ 提出書類の返却はしない。
- ⑤ 応募者は、2020 年度鳥取大学大学院連合農学研究科菌類きのこ資源利用科学特別プログラム入学願書に希望する主指導教員名を記入すること。入学願書に主指導教員名の記入がない場合には受理しない。また、応募者は主指導教員予定者と密接な連絡をとり、研究計画（IV-(3)）を作成すること。
- ⑥ 国費外国人留学生（研究留学生）に応募した後は辞退できない。

V. 試験日程

2020 年 2 月 1 4 日（金）～2020 年 2 月 2 7 日（木）

VI. 奨学金等

- (1) 奨学金支給期間：国費外国人留学生は、2020 年 10 月から 2023 年 9 月までの 3 年間
- (2) 奨学金：月額 145,000 円（変更する場合がある）を支給する。
- (3) 授業料等：入学検定料、入学料及び授業料は徴収しない。
- (4) 旅費

- ① 渡日旅費：文部科学省は、渡日日程及び経路を指定して、渡日する留学生の居住地の最寄りの国際空港*から鳥取大学大学院連合農学研究科構成大学が通常の経路として日本国内で使用する最寄りの国際空港までの下級航空券を交付する。なお、渡日する留学生の居住地から最寄り国際空港*までの国内旅費、空港税、空港使用料、渡航に要する特別税、日本国内の旅費(航空機の乗り継ぎ費用を含む)、携行品・別送手荷物に関わる経費等は留学生の自己負担とする。(「留学生の居住地」は原則として申請書に記載された現住所とする。)
- ② 帰国旅費：奨学金支給期間終了月内に帰国する者については、本人の申請に基づき、鳥取大学大学院連合農学研究科構成大学が通常の経路として使用する国際空港から当該留学生が帰着する場所の最寄りの国際空港*までの下級航空券を交付する。帰国する留学生の日本での居住地から最寄り国際空港までの国内旅費、空港税、空港使用料、渡航に要する特別税、国籍国内の旅費(航空機の乗り継ぎ費用を含む)、携行品・別送手荷物に関わる経費等は留学生の自己負担とする。

*原則として、留学生が国籍を有する国の空港に限る。

(注) 渡日及び帰国旅行の際の旅行保険金は、自己負担とする。

(注) 奨学金支給期間終了後、引き続き日本に滞在し、一時帰国する際の帰国旅費は支給しない。

- (5) ① 学生教育研究災害傷害保険制度：この保険は学生の正課中及び課外活動(キャンパス内)中における不慮の災害事故によって、身体に傷害を被った場合の補償制度であり、全員加入している。保険料は、3年間分で2,600円である。
- ② 留学生用保険(タイプB)：この保険は、(1)他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊した場合、(2)ケガや病気で3日以上入院して、ご家族が駆けつけたときの交通費や宿泊費の支払いを補償する保険である。(学研災と異なり、補償の時間帯や場所についての限定はない)
保険料(3年間)：4,680円

【注意事項】

- ① 医療費補助制度：日本の医療制度の一つに、国民健康保険制度がある。この制度は医療費の一部を負担する。居住地の市役所で国民健康保険の加入手続きをすることにより医療費の自己負担額は、治療費の30%となる。(例外有り)

VII. 推薦のための選考

- (1) 入学者選抜は、口頭試問、提出書類の評価等を総合して行う。
- (2) 口頭試問は、3名以上(主指導教員予定者を含む各構成大学から1名以上)の口頭試問委員がテレビ会議システム等を用いて、対面式により、修士論文等の内容及び研究計画書を中心に50分程度(内容説明：30分程度、質疑その他：20分程度)実施する。
- (3) 口頭試問の実施方法について、主指導教員予定者が「口頭試問実施方法届」(様式第12号)を出願時に研究科長に提出し、代議委員会にて口頭諮問実施方法の承認を得なければならない。
- (4) 文部科学省は、鳥取大学から推薦された候補者を審査のうえ外国人留学生としての採用を決定する。
- (5) 結果は、文部科学省の決定に基づき、8月上旬までに本人に通知する。

VIII. 研究指導

- (1) 研究指導等は主として英語で行う。
- (2) 3年間で博士(農学)の学位を取得すること。
- (3) 在籍身分は正規の大学院生である。学生は構成大学の教員(主指導教員1人及び副指導教員2人)により研究指導を受ける。学生は、主指導教員が専任として在籍する構成大学に配置され、研究指導を受けるが、他の構成大学の施設・設備を利用することができる。

IX. 注意事項

- (1) 国費外国人留学生は次の場合には、原則として奨学金の支給を取り止められる。
 - ① 提出書類に虚偽の記載があることが判明したとき。
 - ② 文部科学大臣への誓約事項に違反したとき。
 - ③ 日本の法令に違反し、無期又は一年を超える懲役若しくは禁固に処せられたとき。
 - ④ 大学において、懲戒処分を受けたとき又は除籍となったとき。(なお、大学において処分を決定するまでの間、奨学金の支給を止めることもある。)
 - ⑤ 大学において、学業成績不良や停学、休学等により標準修業年限内での修了が不可能であることが確定したとき。
 - ⑥ 在留資格「留学」が他の在留資格に変更になったとき。
 - ⑦ 日本政府(文部科学省)以外の機関(自国政府機関含む。)から奨学金等(使途が研究費として特定されているものを除く。)を受給したとき。
 - ⑧ 当該大学院を退学したとき又は他の大学院に転学したとき。
 - ⑨ 1年毎の各時点における学業成績係数が2.30又は大学が認める成績基準を下回ったとき。
- (2) 留学生が休学又は長期に欠席した場合は、その期間中奨学金は原則として支給しない。
- (3) 提出書類等の記載事項に虚偽の記入がある場合には、入学後でも入学許可を取り消すことがある。
- (4) 留学生は渡日に先立ち、日本の風土、習慣、気候、大学の状況についてあらかじめ研究しておくことが望ましい。また、日常生活は日本語での生活になることについて十分理解しておくこと

【問い合わせ先】

〒680-8553 鳥取市湖山町南 4-101

鳥取大学大学院連合農学研究科(農学部連大学務係)

TEL : 0857-31-5446 FAX : 0857-31-5683 E-mail : ag-rengaku@adm.tottori-u.ac.jp

【構成大学の所在地】

鳥取大学

〒680-8553 鳥取市湖山町南 4-101 鳥取大学農学部

TEL : 0857-31-5446 FAX : 0857-31-5683

島根大学

〒690-8504 松江市西川津町 1060 島根大学生物資源科学部

TEL : 0852-32-6492 FAX : 0852-32-6499

山口大学

〒753-8515 山口市吉田 1677-1 山口大学農学部

TEL : 083-933-5800 FAX : 083-933-5820

List of Major Supervisors and their Research Interests

The United Graduate School of Agricultural Sciences offers doctoral programs in the following four major courses : Bioproduction and Bioenvironmental Sciences ; Bioresources and Life Sciences and Global Dryland Science. Each course contains one to four Divisions ; and each Division offers basic and applied research programs. Faculty members (Professors and Associate Professors who serve as Major Supervisors) and their active research programs are listed below.

1. THE COURSE OF BIOPRODUCTION AND BIOENVIRONMENTAL SCIENCES

(a) Division of Agricultural Production Science

Toshiki ASAO (SN)	Vegetable and Ornamental Science	Production of vegetables and ornamentals
Hideki ARAKI(YG)	Agronomy	Function of plant production under environmental stresses and its agronomical application
Katsumi OHTA (SN)	Horticultural Plant Science	Studies on growth control in horticultural plants
Ichiro KITA (SN)	Water and Vegetation use Planning	Water use planning and management, and improvement by vegetation
Nobuo KOBAYASHI (SN)	Horticultural Breeding	Evaluation of plant genetic resources and applications for breeding
Tadashi TAKAHASHI (YG)	Crop Science	Establishment of low-cost and low-input crop cultivation systems
Yoko TSURUNAGA (SN)	Food Processing	Studies on manufacturing method and functionality in food processing
Akira NAKATSUKA (SN)	Molecular Breeding of Horticultural Crop	Molecular breeding for agriculturally useful traits in horticulture crops
Yoshimichi FUKUTA*(TT)	Crop Breeding and Genetics	Breeding sciences for diversity, differentiation, and genetic mechanism for agricultural traits in rice
Shingo MATSUMOTO (SN)	Biochemistry of Soil and Plant Nutrition	Studies on the mechanism of plant nutrient acquisition in relation to soil fertility
Toshikazu MATSUMOTO (SN)	Fruit science	Studies on fruit growing and processed food
Akira YANO (SN)	Bioenvironmental Electrical Engineering	Application of electrical engineering to bioenvironmental technologies
Haruhiko YAMAMOTO (YG)	Environmental Information Science	Growth diagnosis of plant canopies by optical measuring methods

Abbreviations; TT : Tottori University, SN : Shimane University, YG : Yamaguchi University.

* ; Cooperation with Japan International Research Center for Agricultural Sciences

(b) Division of Managerial Economics

Yasuhiro ITO (SN)	History of Fisheries	Study on history of agricultural, fisheries and rural problems in modern Japan
Norikazu INOUE (SN)	Farm Management	Farming practices and resource management on farm businesses
Makoto NOHMI (TT)	Rural Economics	Development and application of regional analysis methods
Toshinobu MATSUDA (TT)	Economics of Consumer Behavior	Empirical analysis of consumer behavior, especially food demand
Ichizen MATSUMURA (TT)	Farm Management	Studies on the relationship between farm management and rural society

Li WAN (TT)	Marketing Information Analytics	Agricultural products distribution channels and econometric analysis of market information
Kumi YASUNOBU(TT)	International agricultural development studies	Agricultural and rural development in Southeast Asia

(c) Division of Forest and Watershed Environmental Sciences

Masayuki ISHII (SN)	Regional infrastructure Engineering	Development of designing method for renovation of irrigation facilities
Katsuhisa ITO (SN)	Forest Policy	Forests, forestry and less-favored area problems and policy
Tomoyuki KUWABARA (SN)	Water Environmental Conservation	Studies on conservation and restoration of water environment, and purification of waste water and environmental water
Ikuo TAKEDA (SN)	Water Quality and Hydrology	Evaluation and control of nonpoint sources in watersheds
Nobuo TSURUSAKI (TT)	Animal Taxonomy	Biodiversity, chromosomes, evolution, and conservation of land invertebrates
Ryota NAGASAWA (TT)	Landscape Ecology	Landscape ecological analysis on the physical and human environment in mountainous regions
Dai NAGAMATSU (TT)	Plant Ecology	Population dynamics of forest and grassland, vegetation science and biodiversity conservation.
Yoshiyuki HIOKI (TT)	Conservation and Restoration Planning of Ecosystem	Ecological planning and engineering for conservation and restoration of biodiversity
Takaaki FUJIMOTO(TT)	Wood physics	Analysis of wood property variation, and development of measurement techniques
Hiroshi YAJIMA (SN)	Environmental Fluid Dynamics	Water environment and hydrodynamics in a water body

(d) Division of Environmental Bioscience

Futoshi ARANISHI (SN)	Genetic Ecology	Molecular evolutionary, ecological and conservative genetics of aquatic organisms
Kazuhito ITOH (SN)	Soil Microbiology	Plant- microbe interaction
Shinichi ITO (YG)	Plant Pathology	Functional genomics of plant pathogens
Makoto UENO (SN)	Plant Pathology	Studies on the expression of resistance in plant-microbe interaction
Hironori KAMINAKA (TT)	Plant-Microbe Interactions	Molecular mechanisms of immune response and mycorrhizal symbiosis in plants
Junichi KIHARA (SN)	Plant Pathology	Photoresponses of the phytopathogenic fungi
Motoichiro KODAMA (TT)	Plant Pathology	Molecular mechanisms in plant-microbe interactions and plant disease resistance
Yoko TAKEMATSU (YG)	Ecological Entomology	Biodiversity and ecology of termites
Ryoichi MIYANAGA(SN)	Insect Ecology	Biology and management of wild bees
Keiko YAMAGUCHI (SN)	Aquatic Ecology	Studies on ecology of benthic animals and aquatic environments

2. THE COURSE OF BIORESOURCE AND LIFE SCIENCES

(a) Division of Fungus and Mushroom Sciences

Tadanori AIMI (TT)	Biochemical Technology of Microorganisms	Biochemistry, molecular biology and biotechnology of microbial production
Norihiro SHIMOMURA (TT)	Mushroom Breeding and Cultivation	Studies on breeding and cultivation of mushroom resources
Kozue SOTOME (TT)	Mushroom Phylogeny and Taxonomy	Phylogenetic taxonomy of mushrooms, and ecological researches of wood-decaying basidiomycetes.
Akira NAKAGIRI (TT)	Fungal Biodiversity	Taxonomy, ecology and evolution of fungi adapted to aquatic habitats

(b) Division of Bioscience and Biotechnology

Kazuhiro AKAMA (SN)	Plant Molecular Biology	Study on regulatory mechanism of tRNA gene expression and physiological function of γ -aminobutyric acid in plants
Masaaki AZUMA (TT)	Molecular Entomology	Molecular analysis of insect cell functions and their application to insect control
Jiro ARIMA (TT)	Bio-Functional Chemistry	Functional analysis of enzymes and microorganisms, and their application to industry
Takahiro ISHIKAWA (SN)	Plant Molecular Physiology	Biosynthesis pathway of antioxidants and metabolism of reactive oxygen species in photosynthetic organisms
Makoto KAWAMUKAI (SN)	Genetic Engineering	Signal transduction, cell cycle control and biosynthesis of coenzyme Q in yeasts
Akihiko KOSUGI* (TT)	Applied Microbiology	Development of biomass utilization technology using microbial functions
Yuuki KODAMA (SN)	Symbiotic biology	Elucidation of the mechanism that establishes endosymbiosis between the <i>Paramecium bursaria</i> and <i>Chlorella</i> spp.
Takahiro SHIOTSUKI (SN)	Insect Chemical Biology and Agrobio-Regulators	Chemical biology and molecular mechanisms in regulation of insect development and their applications
Tsuyoshi NAKAGAWA (SN)	Plant Molecular Genetics	Molecular mechanisms of plant development and technology for analysis of plant genes
Akio NISHIKAWA (SN)	Developmental Biology-Animal	Studies using amphibian about cell growth, differentiation, apoptosis, and morphogenesis
Jun'ichi MANO (YG)	Mechanisms of Environmental Stress-tolerance in Plants	Elucidation and application of plant tolerance mechanisms against abiotic environmental stresses
Takanori MARUTA (SN)	Plant physiology	Redox metabolism network and stress response in plants

(c) Division of Applied Bioresource Chemistry

Hiroyuki AZAKAMI (YG)	Molecular Microbiology	Molecular mechanisms of bacterial colonization to host surface
Atsushi ISHIHARA (TT)	Natural Product Chemistry	Function, Biological activity, and Biosynthesis of metabolites produced by plants and microorganisms
Tsuyoshi ICHIYANAGI(TT)	Organic Chemistry	The molecular design and functional analysis of bioactive compounds
Tsuyoshi KAWANO(TT)	Bioorganic Chemistry	Regulation of diapause, metabolism and longevity corresponding to the growth environment
Hidehisa SHIMIZU (SN)	Nutritional Pathophysiology	Study on the relationship between food-derived bacterial metabolites or cyanobacteria-derived toxins, and pathogenesis of diseases
Jun-ichi TAMURA (TT)	Organic Chemistry	Chemical synthesis of bioactive glycans and isolation/characterization of natural glycans
Kaeko MUROTA (SN)	Bioavailability and Food Function	Bioavailability and physiological function of lipophilic food factors
Tatsuyuki YAMAMOTO (SN)	Bio-molecular spectroscopy	Spectroscopic studies on life science and medical applications
Kazushige YOKOTA (SN)	Biochemistry and Molecular Cell Biology	Molecular cell biology of food and related substances involved in bioinformation, nutrition, and health
Fumio WATANABE(TT)	Food Science	Chemistry and nutrition of vitamin B12 and related compounds in food

3. THE COURSE OF GLOBAL DRYLAND SCIENCE

(a) Division of Global Dryland Science

Kinya AKASHI (TT)	Molecular and Cellular biology	Molecular responses of drought-tolerant plants and their application to molecular breeding
Nigussie Haregeweyn AYEHU (TT)	Land Management	Watershed processes monitoring, modeling and management
AN Ping (TT)	Plant Eco-Physiology	Physiological responses and relative mechanisms of plants and plant ecophysiology in dry lands.
Toshiyoshi ICHINOHE (SN)	Livestock Feeding	Evaluation of ruminants production system
Koji INOSAKO(TT)	Soil and Water Management	Conservation, restoration and sustainable use of soil and water environment
Yasuomi IBARAKI (YG)	Bio-environmental Control Engineering	Environmental control in plant production
Tsuneyoshi ENDO (TT)	Soil Chemistry	Influence of soil properties and irrigation water quality on soil salinization/sodicitation in irrigated farmlands of arid regions
Hidehiko OGATA (TT)	Irrigation and Drainage Facilities Engineering	Evaluation of construction materials and structural performance of irrigation and drainage structures
Reiji KIMURA (TT)	Boundary Layer Meteorology	Heat and water balance in arid lands
Katsuyuki SHIMIZU (TT)	Water Use and Management	Monitoring and assessment of irrigation water management
Kenji SUZUKI (YG)	Meteorology	Observational study on precipitation mechanisms and development of instruments for hydrometeor measurements
Hisashi TSUJIMOTO (TT)	Molecular Breeding	Breeding of drought tolerant crop lines by gene and chromosome engineering
Atsushi TSUNEKAWA (TT)	Conservation Informatics	Monitoring and modeling of plant production and ecosystem change in drylands

Mitsuru TSUBO (TT)	Climate Risk Management	Dryland agrometeorology and climate-smart agriculture
Eiji NISHIHARA (TT)	Crop Production in Drylands	Construction of crop production system in areas including drylands
Masahiro HYODO (TT)	Facilities and Environmental Materials	Rehabilitation management of agricultural irrigation facilities and development of environmental materials
Haruyuki FUJIMAKI (TT)	Soil Conservation	Development of methods for preventing salt accumulation and erosion and remediation of degraded soils
Tsugiyuki MASUNAGA (SN)	Pedosphere Ecological Engineering	Control and use of soil functions of environmental protection-restoration and plant production
Satoshi YAMADA (TT)	Plant Nutrition	Mechanisms of Response to Stresses of Plants in Arid Regions
Norikazu YAMANAKA (TT)	Revegetation in Arid Land	Ecological studies on woody plants in arid lands
Sadahiro YAMAMOTO (TT)	Environmental Soil Science	Conservation of soil environment and sustainable use of farmland in arid regions

DIRECTIONS FOR APPLICATION
FOR
THE SPECIAL PROGRAM FOR BIORESOURCE
UTILIZATION SCIENCE OF FUNGUS
AND MUSHROOM, 2020
(THREE-YEAR DOCTORAL COURSE)
The United Graduate School of Agricultural Sciences
Tottori University
Japan

The United Graduate School of Agricultural Sciences (UGAS), Tottori University, was founded in 1989 as an independent three-year Doctoral course. The UGAS is organized on the basis of the three Master's Courses of Tottori, Shimane and Yamaguchi Universities, and the research facilities at the Universities. The UGAS is operated in close alliance and cooperation with the Master's Courses of the three constituent Universities.

The Special Program (SP) for bioresource utilization science of fungus and mushroom in the UGAS is designed for those students who have finished the Special Program of the Master's courses (Pre-Doctoral Courses) at the constituent Universities; Tottori, Shimane and Yamaguchi. Because the SP at the UGAS is to be open as of October 2020, the UGAS invites application from prospective foreign students who wish to study bioresource utilization science of fungus and mushroom under the Japanese Government (MEXT) Scholarship Program.

I. PURPOSE OF THE SPECIAL PROGRAM

This Special Program (SP) is designed to provide academically advanced education to study bioresource utilization science of fungus and mushroom, and aims to contribute to the development of superior human resources, promoting research on bioresource utilization science of fungus and mushroom.

II. FIELDS OF STUDY AND NUMBER OF STUDENTS TO BE ADMITTED

1. Fields of Study: Applications for any field in bioresource utilization science of fungus and mushroom and related fields are accepted, provided that each applicant finds a suitable academic major advisor in the annexed "List of Supervisors and Their Research Interests".
2. Number of Students to be admitted: Three students funded by the Scholarship from the Japanese Government (MEXT) (hereafter "Scholarship").

III. QUALIFICATIONS

- (1) Nationality: Applicants under the MEXT Scholarship should not be living in Japan at the time of application. Applicants should be nationals from countries which have a diplomatic relation with Japanese government.
- (2) Age: Applicants should be under 35 years of age as of April 1, 2020; those born on or after April 2, 1985.
- (3) Academic career: Applicants should have or be expected to earn a Master's degree by the end of September 2020.
- (4) Health: Applicants should have no physical or mental conditions hindering the applicant's study at the university.
- (5) Language proficiency: A good working level in English is required.
- (6) Arrival in Japan: MEXT Scholarship grantees must arrive in Japan between October 1 and 7, 2020.
- (7) Visa: Applicant must have a student visa
- (8) Applicants who are officially recommended by a university which holds an exchange agreement or has practically exchanged research activities with Tottori University (including the constituent universities).
- (9) Applicants must be available for an interview with the members of the oral examination committee via videoconference or other means to take an oral examination.
- (10) Those who meet any one of the following conditions are ineligible. If identified ineligible after being selected as a scholarship student, he /she must withdraw from the scholarship.
 - ① Military related personnel are not eligible to apply.
 - ② Persons who can't come to Japan on the specified dates can't apply.
 - ③ Those who have been engaged in education and research for approximately 3 years in their own countries after the last Japanese Government (MEXT) Scholarship was granted can't apply.
 - ④ Persons already receiving financial support from their own governments or other organizations are ineligible for the Japanese Government (MEXT) Scholarship
 - ⑤ Those who have already applied for the 2020 other Japanese Government (MEXT) scholarship programs through other Japanese universities or Japanese embassies or consulates; or the 2020 Japan Student Services Organization (JASSO) scholarship for the Short-term Student Exchange Promotion Program; or those students who are currently enrolled under JASSO Scholarship; or those who plan to receive private (including any governmental organization of his/her own country) scholarship cannot apply.
 - ⑥ Applicants who are already enrolled or will enroll at a university in Japan as a privately-financed overseas student in 2020 at the time of application cannot apply.
 - ⑦ Applicants whose academic score of previous two years does not meet the Japanese Government (MEXT) criteria can't apply. (For detailed information, please refer to the desired major supervisor.)
 - ⑧ Those who wish to conduct fieldwork or participate in an internship outside of Japan at the time of application.

- ⑨ Admission may be canceled, if successful applicants do not hold a Master's or equivalent degree by the end of September, 2020.
- ⑩ Applicants of dual nationality who cannot prove their expatriation of the Japanese nationality at the time of application.
- ⑪ Applicants who wish to conduct fieldwork or participate in an internship outside of Japan at the time of application.
- ⑫ Applicants who do not aim to obtain doctoral degree.

IV. APPLICATION PROCEDURE

Applicants should submit the following documents through the desired major advisor between January 17 and 30, 2020. Applications directly mailed to the UGAS are not accepted.

Documents:

- (1) Application in the prescribed form, APPLICATION FOR ADMISSION TO THE UNITED GRADUATE SCHOOL OF AGRICULTURAL SCIENCES, TOTTORI UNIVERSITY, 2020 (Form No. 1).
- (2) Another application in the prescribed form, APPLICATION FORM FOR JAPANESE GOVERNMENT (MEXT) SCHOLARSHIP (Double-sided printing)
- (3) Field of Study and Research Plan in the prescribed form.
- (4) CERTIFICATE OF HEALTH completed by the examining physician within six months of the application date
- (5) A written pledge in the prescribed form.
- (6) LETTER OF APPLICATION in English (about 1,200 words). Use A4 paper and attach a cover sheet (Form No.3).
- (7) One copy of the applicant's Master's degree certificate or a certificate issued by the applicant's graduate school indicating that the applicant will be receiving a Master's degree by the end of September, 2020.
- (8) Transcripts of academic records with English translations issued by the graduate schools that the applicant attended.
- (9) A letter describing the applicant's performance at the final school; the applicant's academic performance clearly indicated in a manner such as being in the top 5% in the class, GPA, etc.
- (10) A summary of the Master's thesis or a summary of the research program
 - (A) Applicants who have completed a master's course:
 - (a) A copy of the master's thesis, or published manuscript equivalent to the thesis.
 - (b) A summary of the master's thesis in English (about 1,200 words). Use A4 paper and attach a cover sheet (Form No. 4).
 - (B) Applicants who anticipate receiving a master's degree:
 - (a) Describe your research program in English (A4 size, about 5,000 words). This report may include tables and figures.

(b) A summary of the research program in English; details are the same as in ((A)-(b))

(11) A copy of certificate of citizenship such as passport or certificate of family register

(12) A recommendation letter from the dean of the applicant's university or graduate school addressed to the President of Tottori University.

(13) A personal recommendation letter (A recommendation letter from the applicant's supervisor of his/her master course.).

(14) Copy(ies) of a record of English proficiency test such as TOEFL, TOEIC, IELTS, United Nations Associations Test of English, University of Cambridge ESOL or The EIKEN Test in Practical English Proficiency.

The applicant planning to submit a score sheet proving his/her English ability other than the above documents must consult with the Academic Affairs Section of the UGSAS before his/her application.

(15) Photocopies of publications described in item #14 in APPLICATION FORM FOR JAPANESE GOVERNMENT (MEXT) SCHOLARSHIP.

(16) Three photographs should be pasted in the designated place on the application forms. Photographs should be taken from the front, from the chest up, bare-headed, and taken within 6 months of application with the applicant's name and nationality on the reverse side. One photograph (4.5 x 3.5cm) and two photographs (4.5 x 3.5cm)

Notes:

- ① These documents should either be typed or printed neatly in English. Application forms can be downloaded from the Website (<http://rendai.muses.tottori-u.ac.jp/english/recruit/index.html>).
- ② Applications will not be accepted unless all the documents mentioned above are fully and correctly completed and delivered to the constituent University by January 30, 2020.
- ③ Applicants must be available for an oral interview with the members of the oral examination committee via videoconference or other means to take an oral examination.
- ④ None of the documents submitted will be returned to the applicants.
- ⑤ Each applicant should select a professor as prospective major supervisor and contact the professor in advance in preparing the application documents. Applications failing to nominate a professor will not be accepted.
- ⑥ Once an applicant applies for admission for a Japanese Government (MEXT) Scholarship, the applicant must not withdraw from it.

V. Examination period

From February 14 to 27 February, 2020

VI. Benefits of the Scholarship

(1) The period of scholarship is from October 2020 to September 2023

(2) Scholarship payments: A monthly allowance of 145,000 yen (proposed charges)

(3) School fees: All school fees, *i.e.*, entrance examination, registration and tuition, shall be waived.

(4) Round Trip transportation to Japan

① A recipient will be supplied, according to the itinerary designated by MEXT, with an economy class air ticket from the international airport nearest to the applicant's home address to the International Airport which the participating University of the United Graduate School finds more desirable from an economical viewpoint. Expenses such as domestic transportation from his/her home address to the international airport, airport tax, airport usage fees, special taxes on travel, or travel expenses within Japan will NOT be supplied.

② At the end of the term, a recipient who is going back to their home country within the specific period after the expiration of their Scholarship will be supplied, according to their application, with an economy class air ticket from International Airport, which the participating University of the United Graduate School finds it more desirable from an economical viewpoint, to the international airport nearest to their home address.

Note 1: Expenses incurred for travel from the designated international airport in Japan to the constituent University of the UGAS and the costs of insurance for the entire trip are NOT reimbursable.

Note 2: If a grantee continues to stay in Japan after the scholarship period has ended, he/she will not be paid travel expenses to return home as the temporary return.

(5) ①Casualty insurance for the recipient's educational activities: This insurance compensates for physical injuries suffered students in their intra-curricular activities both on and off campus, and extra-curricular activities on campus. All students enrolled have to pay the premium of 2,600 yen for three years.

②Insurance for International Students (Type B) : This insurance covers (1) in case of causing injury to another person or damaging the property of others, (2) compensate for the payment of transportation and accommodation expenses in case family members come to Japan to support the insured if he/she is hospitalized due to injury or illness for more than 3 days. (Unlike "Gakkensai", there is no restriction on time and place)

Insurance premiums (3 years): 4, 680 yen

[Additional Benefits]

The National Health Insurance scheme is a fundamental part of Japan's medical care system. It is designed to cover a portion of the medical expenses incurred by citizens.

To apply for National Health Insurance, go to your local municipal government offices and follow the required procedures as instructed. After joining the scheme, you will only be responsible for paying 30% of any medical expenses you incur. (Exceptions apply in some cases.)

VII. ADMISSION FOR RECOMMENDATION TO MONBUKAGAKUSHO SCHOLARSHIP

- (1) Candidates for the Scholarship will be selected through a comprehensive evaluation of the oral examination, the documents submitted, and other elements.
- (2) During an interview for the oral exam conducted via videoconference, at least three members of the oral exam committee (who are one or more faculty members of each of the constituent universities and which include the prospective major supervisor) will spend about 50 minutes reviewing the master's thesis and the research proposal (roughly 30 minutes for the description of the Master's thesis and 20 minutes for questions and answers).
- (3) The method of the oral exam is subject to approval by the board of representatives following the submission of the Notice of the Method of the Oral Exam (Form No. 12) by the prospective major supervisor to the dean of the faculty.
- (4) MEXT will select the recipients from candidates recommended by Tottori University.
- (5) Notification will be sent by the beginning of August to applicants who were selected for admission to the Special Program by MEXT.

VIII. EDUCATION

The successful applicants will be enrolled as full-time graduate students and be expected to complete their thesis research for a doctoral degree within three years, under supervision and instruction mainly in English. Each student is supervised by the faculty members of the three constituent Universities; a professor as a major supervisor and two professors as sub-supervisors. Although each student studies at the constituent University where the applicant's major supervisor resides, the applicant can use the training and research facilities at the other two constituent Universities.

IX. RESERVATIONS

- (1) A recipient will be deprived of the Scholarship in the following cases:
 - ① False statements in the documents.
 - ② Violation of the pledge made to the Minister of MEXT.
 - ③ Being sentenced to imprisonment of more than one year due to violation of Japan's laws and regulations
 - ④ Being subjected to disciplinary action such as expulsion or removal from register by his/her university, and no promise of academic achievement. (The scholarship payment may be stopped during the period up until punishment is decided by the university)
 - ⑤ Being definitive that the grantee will not be able to graduate (or complete his/her doctoral course) within the standard course term because of his/her poor academic achievement or suspension or leaving school

- ⑥ Switch of the visa status from Student to others.
 - ⑦ Receiving a scholarship, except for a scholarship designated for research expenses, from any other organization including an organization in your own country.
 - ⑧ Retiring from the SP or transferring to another university.
 - ⑨ If his/her coefficient of academic performance goes below 2.30 or the border the university decides at the designated time point each year.
- (2) As a general rule, the scholarship is not provided for the period when the foreign student takes a leave of absence or the student is absent for a long time.
 - (3) If false statements were made in the application documents, the applicant's admission shall be canceled even after having been accepted in the United Graduate School.
 - (4) With enrollment, new students are advised to become well informed about the Japanese climate, customs, manners, and other cultural aspects in general before coming to Japan. It is strongly recommended that they study the Japanese language. Knowledge of the Japanese language is very helpful to new-comers to Japan.

More detailed information and all correspondence about this program is available from:

The United Graduate School of Agricultural Sciences Tottori University

4-101, Koyama-Minami, Tottori, 680-8553 Japan

Tel: 81-857-31-5446 (81 is the international code for Japan)

Fax: 81-857-31-5683 (81 is the international code for Japan)

E-mail: ag-rengaku@adm.tottori-.ac.jp

Addressess of Constituent Universities:

*Tottori University

Faculty of Agriculture, Tottori University

4-101, Koyama-Minami, Tottori, 680-8553 Japan

Tel: 81-857-31-5446 (81 is the international code for Japan)

Fax: 81-857-31-5683 (81 is the international code for Japan)

*Shimane University

Faculty of Life and Environmental Science, Shimane University

1060, Nishikawatsu, Matsue, 690-8504 Japan

Tel: 81-852-32-6492 (81 is the international code for Japan)

Fax: 81-852-32-6499 (81 is the international code for Japan)

*Yamaguchi University

Faculty of Agriculture, Yamaguchi University

1677-1, Yoshida, Yamaguchi, 753-0841 Japan

Tel: 81-83-933-5800 (81 is the international code for Japan)

Fax: 81-83-933-5820 (81 is the international code for Japan)

List of Major Supervisors and their Research Interests

The United Graduate School of Agricultural Sciences offers doctoral programs in the following four major courses : Bioproduction and Bioenvironmental Sciences ; Bioresources and Life Sciences and Global Dryland Science. Each course contains one to four Divisions ; and each Division offers basic and applied research programs. Faculty members (Professors and Associate Professors who serve as Major Supervisors) and their active research programs are listed below.

1. THE COURSE OF BIOPRODUCTION AND BIOENVIRONMENTAL SCIENCES

(a) Division of Agricultural Production Science

Toshiki ASAO (SN)	Vegetable and Ornamental Science	Production of vegetables and ornamentals
Hideki ARAKI(YG)	Agronomy	Function of plant production under environmental stresses and its agronomical application
Katsumi OHTA (SN)	Horticultural Plant Science	Studies on growth control in horticultural plants
Ichiro KITA (SN)	Water and Vegetation use Planning	Water use planning and management, and improvement by vegetation
Nobuo KOBAYASHI (SN)	Horticultural Breeding	Evaluation of plant genetic resources and applications for breeding
Tadashi TAKAHASHI (YG)	Crop Science	Establishment of low-cost and low-input crop cultivation systems
Yoko TSURUNAGA (SN)	Food Processing	Studies on manufacturing method and functionality in food processing
Akira NAKATSUKA (SN)	Molecular Breeding of Horticultural Crop	Molecular breeding for agriculturally useful traits in horticulture crops
Yoshimichi FUKUTA*(TT)	Crop Breeding and Genetics	Breeding sciences for diversity, differentiation, and genetic mechanism for agricultural traits in rice
Shingo MATSUMOTO (SN)	Biochemistry of Soil and Plant Nutrition	Studies on the mechanism of plant nutrient acquisition in relation to soil fertility
Toshikazu MATSUMOTO (SN)	Fruit science	Studies on fruit growing and processed food
Akira YANO (SN)	Bioenvironmental Electrical Engineering	Application of electrical engineering to bioenvironmental technologies
Haruhiko YAMAMOTO (YG)	Environmental Information Science	Growth diagnosis of plant canopies by optical measuring methods

Abbreviations; TT : Tottori University, SN : Shimane University, YG : Yamaguchi University.

* ; Cooperation with Japan International Research Center for Agricultural Sciences

(b) Division of Managerial Economics

Yasuhiro ITO (SN)	History of Fisheries	Study on history of agricultural, fisheries and rural problems in modern Japan
Norikazu INOUE (SN)	Farm Management	Farming practices and resource management on farm businesses
Makoto NOHMI (TT)	Rural Economics	Development and application of regional analysis methods
Toshinobu MATSUDA (TT)	Economics of Consumer Behavior	Empirical analysis of consumer behavior, especially food demand
Ichizen MATSUMURA (TT)	Farm Management	Studies on the relationship between farm management and rural society

Li WAN (TT)	Marketing Information Analytics	Agricultural products distribution channels and econometric analysis of market information
Kumi YASUNOBU (TT)	International agricultural development studies	Agricultural and rural development in Southeast Asia

(c) Division of Forest and Watershed Environmental Sciences

Masayuki ISHII (SN)	Regional infrastructure Engineering	Development of designing method for renovation of irrigation facilities
Katsuhisa ITO (SN)	Forest Policy	Forests, forestry and less-favored area problems and policy
Tomoyuki KUWABARA (SN)	Water Environmental Conservation	Studies on conservation and restoration of water environment, and purification of waste water and environmental water
Ikuo TAKEDA (SN)	Water Quality and Hydrology	Evaluation and control of nonpoint sources in watersheds
Nobuo TSURUSAKI (TT)	Animal Taxonomy	Biodiversity, chromosomes, evolution, and conservation of land invertebrates
Ryota NAGASAWA (TT)	Landscape Ecology	Landscape ecological analysis on the physical and human environment in mountainous regions
Dai NAGAMATSU (TT)	Plant Ecology	Population dynamics of forest and grassland, vegetation science and biodiversity conservation.
Yoshiyuki HIOKI (TT)	Conservation and Restoration Planning of Ecosystem	Ecological planning and engineering for conservation and restoration of biodiversity
Takaaki FUJIMOTO (TT)	Wood physics	Analysis of wood property variation, and development of measurement techniques
Hiroshi YAJIMA (SN)	Environmental Fluid Dynamics	Water environment and hydrodynamics in a water body

(d) Division of Environmental Bioscience

Futoshi ARANISHI (SN)	Genetic Ecology	Molecular evolutionary, ecological and conservative genetics of aquatic organisms
Kazuhito ITOH (SN)	Soil Microbiology	Plant- microbe interaction
Shinichi ITO (YG)	Plant Pathology	Functional genomics of plant pathogens
Makoto UENO (SN)	Plant Pathology	Studies on the expression of resistance in plant-microbe interaction
Hironori KAMINAKA (TT)	Plant-Microbe Interactions	Molecular mechanisms of immune response and mycorrhizal symbiosis in plants
Junichi KIHARA (SN)	Plant Pathology	Photoresponses of the phytopathogenic fungi
Motoichiro KODAMA (TT)	Plant Pathology	Molecular mechanisms in plant-microbe interactions and plant disease resistance
Yoko TAKEMATSU (YG)	Ecological Entomology	Biodiversity and ecology of termites
Ryoichi MIYANAGA (SN)	Insect Ecology	Biology and management of wild bees
Keiko YAMAGUCHI (SN)	Aquatic Ecology	Studies on ecology of benthic animals and aquatic environments

2. THE COURSE OF BIORESOURCE AND LIFE SCIENCES

(a) Division of Fungus and Mushroom Sciences

Tadanori AIMI (TT)	Biochemical Technology of Microorganisms	Biochemistry, molecular biology and biotechnology of microbial production
Norihiro SHIMOMURA (TT)	Mushroom Breeding and Cultivation	Studies on breeding and cultivation of mushroom resources
Kozue SOTOME (TT)	Mushroom Phylogeny and Taxonomy	Phylogenetic taxonomy of mushrooms, and ecological researches of wood-decaying basidiomycetes.
Akira NAKAGIRI (TT)	Fungal Biodiversity	Taxonomy, ecology and evolution of fungi adapted to aquatic habitats

(b) Division of Bioscience and Biotechnology

Kazuhiro AKAMA (SN)	Plant Molecular Biology	Study on regulatory mechanism of tRNA gene expression and physiological function of γ -aminobutyric acid in plants
Masaaki AZUMA (TT)	Molecular Entomology	Molecular analysis of insect cell functions and their application to insect control
Jiro ARIMA (TT)	Bio-Functional Chemistry	Functional analysis of enzymes and microorganisms, and their application to industry
Takahiro ISHIKAWA (SN)	Plant Molecular Physiology	Biosynthesis pathway of antioxidants and metabolism of reactive oxygen species in photosynthetic organisms
Makoto KAWAMUKAI (SN)	Genetic Engineering	Signal transduction, cell cycle control and biosynthesis of coenzyme Q in yeasts
Akihiko KOSUGI* (TT)	Applied Microbiology	Development of biomass utilization technology using microbial functions
Yuuki KODAMA (SN)	Symbiotic biology	Elucidation of the mechanism that establishes endosymbiosis between the <i>Paramecium bursaria</i> and <i>Chlorella</i> spp.
Takahiro SHIOTSUKI (SN)	Insect Chemical Biology and Agrobio-Regulators	Chemical biology and molecular mechanisms in regulation of insect development and their applications
Tsuyoshi NAKAGAWA (SN)	Plant Molecular Genetics	Molecular mechanisms of plant development and technology for analysis of plant genes
Akio NISHIKAWA (SN)	Developmental Biology-Animal	Studies using amphibian about cell growth, differentiation, apoptosis, and morphogenesis
Jun'ichi MANO (YG)	Mechanisms of Environmental Stress-tolerance in Plants	Elucidation and application of plant tolerance mechanisms against abiotic environmental stresses
Takanori MARUTA (SN)	Plant physiology	Redox metabolism network and stress response in plants

(c) Division of Applied Bioresource Chemistry

Hiroyuki AZAKAMI (YG)	Molecular Microbiology	Molecular mechanisms of bacterial colonization to host surface
Atsushi ISHIHARA (TT)	Natural Product Chemistry	Function, Biological activity, and Biosynthesis of metabolites produced by plants and microorganisms
Tsuyoshi ICHIYANAGI(TT)	Organic Chemistry	The molecular design and functional analysis of bioactive compounds
Tsuyoshi KAWANO (TT)	Bioorganic Chemistry	Regulation of diapause, metabolism and longevity corresponding to the growth environment
Hidehisa SHIMIZU (SN)	Nutritional Pathophysiology	Study on the relationship between food-derived bacterial metabolites or cyanobacteria-derived toxins, and pathogenesis of diseases
Jun-ichi TAMURA (TT)	Organic Chemistry	Chemical synthesis of bioactive glycans and isolation/characterization of natural glycans
Kaeko MUROTA (SN)	Bioavailability and Food Function	Bioavailability and physiological function of lipophilic food factors
Tatsuyuki YAMAMOTO (SN)	Bio-molecular spectroscopy	Spectroscopic studies on life science and medical applications
Kazushige YOKOTA (SN)	Biochemistry and Molecular Cell Biology	Molecular cell biology of food and related substances involved in bioinformation, nutrition, and health
Fumio WATANABE (TT)	Food Science	Chemistry and nutrition of vitamin B12 and related compounds in food

3. THE COURSE OF GLOBAL DRYLAND SCIENCE

(a) Division of Global Dryland Science

Kinya AKASHI (TT)	Molecular and Cellular biology	Molecular responses of drought-tolerant plants and their application to molecular breeding
Nigussie Haregeweyn AYEHU (TT)	Land Management	Watershed processes monitoring, modeling and management
AN Ping (TT)	Plant Eco-Physiology	Physiological responses and relative mechanisms of plants and plant ecophysiology in dry lands.
Toshiyoshi ICHINOHE (SN)	Livestock Feeding	Evaluation of ruminants production system
Koji INOSAKO(TT)	Soil and Water Management	Conservation, restoration and sustainable use of soil and water environment
Yasuomi IBARAKI (YG)	Bio-environmental Control Engineering	Environmental control in plant production
Tsuneyoshi ENDO (TT)	Soil Chemistry	Influence of soil properties and irrigation water quality on soil salinization/sodicitation in irrigated farmlands of arid regions
Hidehiko OGATA (TT)	Irrigation and Drainage Facilities Engineering	Evaluation of construction materials and structural performance of irrigation and drainage structures
Reiji KIMURA (TT)	Boundary Layer Meteorology	Heat and water balance in arid lands
Katsuyuki SHIMIZU (TT)	Water Use and Management	Monitoring and assessment of irrigation water management
Kenji SUZUKI (YG)	Meteorology	Observational study on precipitation mechanisms and development of instruments for hydrometeor measurements
Hisashi TSUJIMOTO (TT)	Molecular Breeding	Breeding of drought tolerant crop lines by gene and chromosome engineering
Atsushi TSUNEKAWA (TT)	Conservation Informatics	Monitoring and modeling of plant production and ecosystem change in drylands

Mitsuru TSUBO (TT)	Climate Risk Management	Dryland agrometeorology and climate-smart agriculture
Eiji NISHIHARA (TT)	Crop Production in Drylands	Construction of crop production system in areas including drylands
Masahiro HYODO (TT)	Facilities and Environmental Materials	Rehabilitation management of agricultural irrigation facilities and development of environmental materials
Haruyuki FUJIMAKI (TT)	Soil Conservation	Development of methods for preventing salt accumulation and erosion and remediation of degraded soils
Tsugiyuki MASUNAGA (SN)	Pedosphere Ecological Engineering	Control and use of soil functions of environmental protection-restoration and plant production
Satoshi YAMADA (TT)	Plant Nutrition	Mechanisms of Response to Stresses of Plants in Arid Regions
Norikazu YAMANAKA (TT)	Revegetation in Arid Land	Ecological studies on woody plants in arid lands
Sadahiro YAMAMOTO (TT)	Environmental Soil Science	Conservation of soil environment and sustainable use of farmland in arid regions

2020年度日本政府(文部科学省)奨学金留学生申請書(研究留学生)[特別枠]

2020 APPLICATION FORM FOR JAPANESE GOVERNMENT (MEXT) SCHOLARSHIP
(RESEARCH STUDENTS)

記入上の注意

1. タイプまたは手書きでブロック体で明瞭に記入すること。
2. 数字は算用数字を用いること。
3. 年号はすべて西暦とすること。
4. 固有名詞はすべて正式な名称とし、一切省略しないこと。

※本申請書に記載された個人情報については、本奨学金の選考のために使用するほかは、特にEmail アドレス等の連絡先については、採用後における関係者のネットワークを作ること及び必要に応じ日本政府より各種情報を送信する以外には使用しない。

INSTRUCTIONS

1. Type application, if possible, or write neatly by hand in block letters.
2. Use Arabic numerals.
3. Write years in western calendar.
4. Write proper nouns in full without abbreviation.

※ Personal data entered in this application will only be used for scholarship selection purposes, and contact information such as email addresses will only be used to create academic networks after the applicant is selected and by the Japanese government to send out information when needed.

1.氏名 Name	アルファベット Alphabet	Surname (姓)	Given name (名)	Middle name (ミドルネーム)
	自国語 Native language	Surname (姓)	Given name (名)	Middle name (ミドルネーム)

※綴りはパスポートの表記と同一にすること Write your name exactly as it appears in your passport.

2.性別 Gender	<input type="checkbox"/> 男 Male <input type="checkbox"/> 女 Female	3. 婚姻状況 Marital Status	<input type="checkbox"/> 独身 Single <input type="checkbox"/> 既婚 Married	写真(4.5cm×3.5cm) Photo Paste your photo or digital image taken within 6 months. Write your name and nationality on the back of the photo. 6ヶ月以内に撮影した写真またはデジタル画像を貼ること。写真の裏面に名前と国籍を書くこと。
4.国籍 Nationality				
5.日本国籍 Japanese Nationality	<input type="checkbox"/> 無 NO	<input type="checkbox"/> 有: 離脱予定年月 YES: expatriation date	2 0 年 yy 月 mm	
6.生年月日 Date of Birth	年 yyyy	月 mm	日 dd 年齢 (2020/4/1現在) Age (As of April 1, 2020) 歳 yrs	

※応募者は1985年4月2日以降に出生した者であること。
Applicants must have been born on or after April 2, 1985.

7.(1)現住所 Current Address	国名 Country
-----------------------------	---------------

※現住所が日本の場合、現在の在留資格の種類
If you currently reside in Japan, what is your current visa status?

※既に我が国の在留資格「永住者」、「定住者」等を有している場合であっても、採用後に「留学」に変更する必要がある。なお、国費外国人留学生の身分終了後に改めて「永住者」又は「定住者」の在留資格を申請しても当然には認定されない可能性があることを理解した上で申請すること。Please be aware that even if the applicant applies for the permanent-resident or long-term resident status of residence after the expiration of the status as a Japanese Government Scholarship student, the possibility exists that the application may not be approved.

(2) 渡日前住所 Your address before departure for Japan	<input type="checkbox"/> 同上 Same as above.
	<input type="checkbox"/> 下記住所に変更することが確定している The above 'Current Address' will be changed as follows:
	国名 Country

※渡日前の住所が現住所から変更になることが確定している場合は、「(2)渡日前住所」の「下記住所に変更される」に✓を入れ、住所を記入すること。変更がない場合は「同上」に✓を入れること。If the current address will be changed at the time of leaving from your country, please check the box of 'The above 'Current Address' will be changed as follows:' and specify the new address. If the current address will not be changed, check the box of 'Same as above'.

※渡日前住所が国籍国と異なる場合は、原則として渡日旅費が不支給となることを理解しているか。If you currently reside in outside your home country, do you understand that, in principle, after selected for MEXT Scholarship Student, you are not provided an airline ticket to Japan?	<input type="checkbox"/> はい YES	<input type="checkbox"/> いいえ NO
--	---------------------------------	---------------------------------

(3)電話番号 Phone number	(4) Email
-------------------------	-----------

※可能な限り、渡日前～日本留学中～帰国後にわたり使い続けることが予想されるEmailアドレスを記入すること。
You are suggested to write an email address that can be used continuously before, during and after your stay in Japan.

8.(1)過去に国費外国人留学生に採用されたことがあるか。 Have you been awarded a Japanese Government (MEXT) Scholarship in the past?							<input type="checkbox"/> いいえ NO	<input type="checkbox"/> はい YES	
(2)「はい」の場合は以下にその期間、受入学校名を記入し、プログラムを以下の「プログラム区分」から選択すること。 If "YES", please specify the period and the name of the school, and select the Program No. (① to ⑨) from the below 'Program category'.									
期間 Period	年 yyyy	月 mm	～	年 yyyy	月 mm	学校名 Name of school	プログラム Program No.		
期間 Period	年 yyyy	月 mm	～	年 yyyy	月 mm	学校名 Name of school	プログラム Program No.		
期間 Period	年 yyyy	月 mm	～	年 yyyy	月 mm	学校名 Name of school	プログラム Program No.		
プログラム区分 Program category	①研究留学生 Research Students			②学部留学生 Undergraduate Students			③高等専門学校留学生 College of Technology Students		
	④専修学校留学生 Specialized Training College Students			⑤日本語・日本文化研修留学生 Japanese Studies Students			⑥教員研修留学生 Teacher Training Students		
	⑦日韓共同理工系学部留学生 Japan-Korea Joint Government Scholarship Program for the Students in Science and Engineering Departments			⑧ヤング・リーダーズ・プログラム留学生 Young Leaders' Program			⑨スーパーグローバル大学創成支援事業 Top Global University Project		
※過去に受給した奨学金が文部科学省奨学金に該当するか否か不明の場合は事前に希望大学担当者に相談すること。If you are unsure whether previously awarded financial aid corresponds to a MEXT Scholarship or not, please consult in advance with staffs at the university in Japan you wish to attend.									
(3)上記にて①、②、③、④、⑥又は⑨のプログラムを選択した者は、前回の受給終了から本奨学金支給開始時まで3年以上の学業又職務経歴があるか。またその際の所属機関名、教育研究の内容、期間を記入すること。If you marked ①, ②, ③, ④, ⑥ or ⑨ program above, have you have educational or work experience exceeding more than three years from the first day of the month following the final payment of the previous scholarship to the beginning of the payment of this scholarship? If "YES", please specify the name of institution, the content, and the period.							<input type="checkbox"/> はい YES	<input type="checkbox"/> いいえ NO	
①	機関名 Name of institution				内容 Content				
	期間 Duration	From	年 yyyy	月 mm	～	To	年 yyyy	月 mm	年 yrs
②	機関名 Name of institution				内容 Content				
	期間 Duration	From	年 yyyy	月 mm	～	To	年 yyyy	月 mm	年 yrs
③	機関名 Name of institution				内容 Content				
	期間 Duration	From	年 yyyy	月 mm	～	To	年 yyyy	月 mm	年 yrs
通算教育研究期間(本奨学金支給開始時点) Total period of experience of education/research (As of the beginning of the payment of this scholarship) ※①～③の合計は3年以上であること。*The sum of ① to ③ must be over 3 years.							年 yrs	か月 mons	
9. 日本政府(文部科学省)奨学金制度による他の2020年度奨学金支給開始のプログラムに併願しているか。それらの日本政府(文部科学省)奨学金との併願は認められない。 Are you applying for any other Japanese Government (MEXT) Scholarships for which scholarship payments will begin in fiscal 2020? It is not allowed to apply for other Japanese government (MEXT) Scholarships at the same time.							<input type="checkbox"/> いいえ NO	<input type="checkbox"/> はい YES	
10.(1) 本制度による奨学金と重複し、日本政府(文部科学省)以外の機関(自国政府機関を含む)から奨学金等を受給、または受給予定であるか。 Are you receiving or scheduled to be receiving any scholarship from any organization other than the Japanese Government (MEXT) (including an organization of your home country government) together with the MEXT Scholarship?							<input type="checkbox"/> いいえ NO	<input type="checkbox"/> はい YES	
※「はい」の場合、本奨学金と他の奨学金の併給は認められないため、本制度に採用後は他の奨学金の受給を停止しなければならないことを理解しているか。 If 'YES', do you understand you must cancel other scholarships after selected for MEXT Scholarship Student since it is not allowed to receive other scholarships together with the MEXT Scholarship?							<input type="checkbox"/> はい YES	<input type="checkbox"/> いいえ NO	
(2) 他の奨学金に応募又は他の奨学金を受給している場合は、その名前、期間、金額等を記すこと。 If you are receiving or applying for other scholarships, please specify the name of the sponsor, scholarship period, scholarship amount, etc.									
奨学金の内容 Describe the scholarship									

11. 学歴 Academic record										
INSTRUCTIONS										
1. 幼稚園・保育所教育は含まれない。			1. Exclude kindergarten education and nursery school education.							
2. 「大学予備教育」は後期中等教育に含まれる。			2. Preparatory education for university admission is included in upper secondary education.							
3. 「大学入学資格試験」に合格している場合には、その旨「特記事項」欄に記入すること。			3. If the applicant has passed the university entrance qualification, indicate this in the Remarks column.							
4. 「飛び級」をしている場合には、その旨を「特記事項」欄に記入すること。(例)高校3年次を飛び級により短期卒業)			4. Any school years or levels skipped should be indicated in the Remarks column. Example: Skipped senior year for the early graduation.							
5. 住居の移転や大学の再入学等を理由に、同教育課程で複数の学校に在籍していた場合は、同じ欄に複数の学校の在籍を記載し、すべての修学状況を修学年数に含めること。			5. If you attended multiple schools at the same level of education due to moving house or readmission to university, then write the schools in the same column and include the number of years of study and current status for each school.							
6. 修了済みの課程年数合計は在籍期間を算出し、記入すること。(長期休暇も含める)			6. Calculate and write the total number of years studied based on the duration as a student. (including extended leaves such as summer vacation)							
7. 下記に書ききれない場合は、別紙に記入することも可能。しかしその場合は、別紙に記入する旨を明記すること。			7. You may use a separate piece of paper if the space below is insufficient. In such a case, please stipulate that the information is on a separate page.							
初等教育 (小学校) Primary Education (Elementary School)	学校名 Name									
	所在地 Location	州・省State/Province				市・町 City/Town				
	から From	年 yyyy	月 mm	～	まで To	年 yyyy	月 mm	修業年限 Period required for graduation	年 YRS	
	特記事項 Remarks									
前期中等教育 (中学校) Lower Secondary Education (Middle School/Junior High School)	学校名 Name									
	所在地 Location	州・省State/Province				市・町 City/Town				
	から From	年 yyyy	月 mm	～	まで To	年 yyyy	月 mm	修業年限 Period required for graduation	年 YRS	
	特記事項 Remarks									
後期中等教育 (高校) Upper Secondary Education (Senior High School)	学校名 Name									
	所在地 Location	州・省State/Province				市・町 City/Town				
	から From	年 yyyy	月 mm	～	まで To	年 yyyy	月 mm	修業年限 Period required for graduation	年 YRS	
	特記事項 Remarks									
高等教育 (大学学部) Tertiary(Higher) Education (Undergraduate)	学校名 Name									
	所在地 Location	州・省State/Province				市・町 City/Town				
	から From	年 yyyy	月 mm	～	まで To	年 yyyy	月 mm	修業年限 Period required for graduation	年 YRS	
	修了状況(※入学時点) Status (*As of enrolment in the university in Japan)	<input type="checkbox"/> 修了 Completed			<input type="checkbox"/> 修了見込 Expected to complete		<input type="checkbox"/> 退学 Withdrawal		<input type="checkbox"/> その他 *Fill in the details in the Remarks column	
	学位 Degree	<input type="checkbox"/> 学士 Bachelor-level			特記事項 Remarks					
高等教育 (大学院) Tertiary (Higher) Education (Graduate)	学校名 Name									
	所在地 Location	州・省State/Province				市・町 City/Town				
	から From	年 yyyy	月 mm	～	まで To	年 yyyy	月 mm	修業年限 Period required for graduation	年 YRS	
	修了状況(※入学時点) Status (*As of enrolment in the university in Japan)	<input type="checkbox"/> 修了 Completed			<input type="checkbox"/> 修了見込 Expected to complete		<input type="checkbox"/> 退学 Withdrawal		<input type="checkbox"/> その他 *Fill in the details in the Remarks column	
	学位 Degree	<input type="checkbox"/> 学士 Bachelor-level <input type="checkbox"/> 修士 Master-level <input type="checkbox"/> 博士 Doctor-level			特記事項 Remarks					
高等教育 (大学院) Tertiary (Higher) Education (Graduate)	学校名 Name									
	所在地 Location	州・省State/Province				市・町 City/Town				
	から From	年 yyyy	月 mm	～	まで To	年 yyyy	月 mm	修業年限 Period required for graduation	年 YRS	
	修了状況(※入学時点) Status (*As of enrolment in the university in Japan)	<input type="checkbox"/> 修了 Completed			<input type="checkbox"/> 修了見込 Expected to complete		<input type="checkbox"/> 退学 Withdrawal		<input type="checkbox"/> その他 *Fill in the details in the Remarks column	
	学位 Degree	<input type="checkbox"/> 学士 Bachelor-level <input type="checkbox"/> 修士 Master-level <input type="checkbox"/> 博士 Doctor-level			特記事項 Remarks					
入学時点で修了済みの課程年数合計									年	
Total years of education you will complete as of enrolment in the university in Japan									YRS	

12.過去に専攻した専門分野(できるだけ具体的に詳細に書くこと。) Field of specialization studied in the past (Be as detailed and specific as possible.)			
13.過去に論文を執筆したことがあるか Have you ever written a thesis?		<input type="checkbox"/> ある YES <input type="checkbox"/> ない NO	
14.著書、論文(卒業論文を含む。)があればその題名、出版社名、出版年月日、出版場所を記入すること。 State the titles or subjects of books and papers (including graduation thesis) authored by applicant, if any, with the name, address of publisher and the date of publication.			
15.日本における最初の入学希望課程 The first course you plan to take in Japan		<input type="checkbox"/> 修士課程 Master's degree course <input type="checkbox"/> 博士課程 Doctoral course <input type="checkbox"/> 専門職学位課程 Professional graduate course	
16.日本における最終的な希望留学期間 Term you wish to study in Japan		<input type="checkbox"/> 修士課程修了まで Up to the completion of master's degree program <input type="checkbox"/> 博士課程修了まで Up to the completion of doctoral program <input type="checkbox"/> 専門職学位課程修了まで Up to the completion of the professional graduate program	
17.現職の有無 Do you currently have a job?		<input type="checkbox"/> いいえ NO	<input type="checkbox"/> はい → YES
		勤務先名 Employer's name	
18.職歴(直近2つまで記入すること。アルバイトは除く。) Employment record: Write the 2 most recent employment and exclude part-time work.			
勤務先及び所在地 Name and location of organization	勤務期間 Period of employment	役職名 Position	職務内容 Type of work
	From To		
	From To		

専攻分野及び研究計画
Field of Study and Research Plan

Name in full,
in your native language

(姓名(自国語))

_____, _____
(Surname) (Given name) (Middle name)

Name in Roman capital letters

(姓名(ローマ字))

_____, _____
(Surname) (Given name) (Middle name)

Nationality

(国籍)

Proposed study program in Japan (Outline your field of study on this side and the specific of your study program on the reverse side of this sheet. This section is one of the most important references for selection. The statement must be typewritten or written in block letters. Additional sheets of paper may be attached if necessary. If plagiarism or fraud is discovered after selection, the selection will be cancelled retroactively.)

(日本での研究計画;この研究計画は、選考の重要な参考となるので、表面に専攻分野の概要を、裏面に研究計画の詳細を具体的に記入すること。記入はタイプ又は楷書によるものとし、必要な場合は別紙を追加してもよい。なお、採用後に不正、盗用等が判明した場合は遡って採用を取り消す。)

If you have Japanese language ability, write in Japanese. (相当の日本語能力を有する者は、日本語により記入すること。)

1 Present field of study(現在の専攻分野)

2 Your research topic in Japan: Describe articulately the research you wish to carry out in Japan.

(渡日後の研究テーマ:日本においてどういった研究がしたいかを明確に記入すること)

3 Study program in Japan: (Describe in detail and with specifics - particularly concerning the ultimate goal(s) of your research in Japan)

(研究計画: 詳細かつ具体的に記入し、特に研究の最終目標について具体的に記入すること。)

健康診断書

CERTIFICATE OF HEALTH (to be completed by the examining physician)

日本語又は英語により明瞭に記載すること。
Please fill out (PRINT/TYPE) in Japanese or English.

氏名 Name: _____
Family name, First name Middle name

男 Male 生年月日 Date of Birth: _____ 年齢 Age: _____
女 Female

1. 身体検査 Physical Examinations

(1) 身長 Height _____ cm 体重 Weight _____ kg

(2) 血圧 Blood pressure _____ mmHg ~ _____ mmHg 血液型 Blood Type

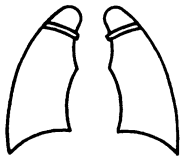
A	B	O	+
			RH -

脈拍 Pulse 整 regular
不整 irregular

(3) 視力 Eyesight: (R) _____ (L) _____
裸眼 without glasses 矯正 with glasses or contact lenses

(4) 聴力 Hearing: 正常 normal 言語 speech: 正常 normal
低下 impaired 異常 impaired

2. 申請者の胸部について、聴診とX線検査の結果を記入してください。X線検査の日付も記入すること（6ヶ月以上前の検査は無効。）
Please describe the results of physical and X-ray examinations of applicant's chest X-ray (X-ray taken more than 6 months prior to the certification is NOT valid).



肺 lung: 正常 normal
異常 impaired

心臓 Cardiomegaly: 正常 normal
異常 impaired

← Date _____
Film No. _____

↓ 異常がある場合 ↓
心電図 Electrocardiograph: 正常 normal
異常 impaired

Describe the condition of applicant's lung.

3. 現在治療中の病気 Disease Treated at Present Yes (Disease: _____)
No

4. 既往症 Past history: Please indicate with + or - and fill in the date of recovery

Tuberculosis..... (. . .) Malaria..... (. . .) Other communicable disease..... (. . .)
 Epilepsy..... (. . .) Kidney Disease..... (. . .) Heart Diseases..... (. . .)
 Diabetes..... (. . .) Drug Allergy..... (. . .) Psychosis..... (. . .)
 Functional Disorder in extremities..... (. . .)

5. 検査 Laboratory tests
 検尿 Urinalysis: glucose (), protein (), occult blood ()

赤沈 ESR: _____ mm/Hr, WBC count: _____ /mm³ 貧血
 anemia

Hemoglobin: _____ mg/dl, GPT: _____

6. 診断医の印象を述べて下さい。
Please describe your impression.

7. 志願者の既往歴、診察・検査の結果から判断して、現在の健康の状況は十分に留学に耐えうるものと思われますか？
In view of the applicant's history and the above findings, is it your observation his/her health status is adequate to pursue studies in Japan?

yes no

日付 Date: _____ 署名 Signature: _____

医師氏名
Physician's Name in Print: _____

検査施設名
Office/Institution: _____
所在地
Address: _____

誓約書

A written pledge

私はこの申請(鳥取大学による大学推薦)の他に、以下の奨学金を重複して申請していないことを誓約します。

I swear not to apply for the following scholarships besides the application to Tottori University.

1. 他大学との重複申請(大学推薦による国費外国人留学生奨学金制度)

Repeated application with another university
(International students of National Scholarship System by “Nominated by a university”)

2. 大使館推薦(国費外国人留学生奨学金制度)

International students of National Scholarship System by “Nominated by an Embassy”

3. 独立行政法人日本学生支援機構による、留学生交流支援制度

Short-term Student Exchange Promotion Program by Japan Student Services Organization (JASSO)

4. 他の奨学金等

Other Scholarship program, etc.

誓約日 年 月 日
Date of pledge Year Month Day

申請者氏名

Applicant's Name

申請者署名

Applicant's Signature

私は、受入予定教員として上記の誓約書の内容を確認した。

I confirmed the above-mentioned contents as a guidance professor in Japan.

確認日 年 月 日
Date of confirmation Year Month Day

受入予定教員氏名

Guidance professor's Name

印

Seal

(様式第 3 号)
(Form No. 3)

志 願 理 由 書
LETTER OF APPLICATION

受 験 番 号 Examinee No.	*
ふ り が な 氏 名 Name (in print)	

*この欄は記入しないこと。

*Leave blank.

(注意) 1. これは志願理由書の表紙です。

(Notes) This is the cover sheet of your letter of application.

2. 志願の動機と目的をA4版の用紙(横書き)を使用し、英文により1,200語程度で記載すること。

Use A4 paper, and summarize your motivation for and purposes of application in English (in about 1,200 words).

鳥取大学大学院連合農学研究科
The United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University

(様式第4号)

(Form No.4)

修士論文概要
SUMMARY OF MASTER'S THESIS

研究経過概要
SUMMARY OF RESEARCH PROGRAM

受験番号 Examinee No.	*
ふりがな 氏名 Name (in print)	
志望専攻名 Preferred Course	
志望連合講座 Preferred Division	

*この欄は記入しないこと。

*Leave blank.

(注意) 1. これは各概要の表紙です。それぞれの概要の最上部にこの表紙を使用すること。

(Notes) This form is the cover sheet for each summary.

2. この表紙は複写して充当すること。

Make copies of this cover sheet, as needed.

3. 該当する表題を残し、不要の項目は2重線で抹消すること。

Erase unnecessary titles, leaving only the appropriate title.

4. A4版の用紙(横書き)を使用し、英文により1,200語程度で記載すること。

Use A4 paper, and give each of the summaries in English (in about 1,200 words).

鳥取大学大学院連合農学研究科

The United Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University

(様式第12号)
(Form No.12)

年 月 日

連合農学研究科長 殿

主指導教員予定者

氏名 _____ (印)

鳥取大学大学院連合農学研究科
菌類きのこ資源利用科学特別プログラム(博士後期課程)口頭試問実施方法届

志願者 _____ の口頭試問実施方法を下記のとおり届け出ます。

記

(口頭試問実施方法)

1. 口頭試問委員

口頭試問委員名(所属大学)

2. 実施場所(予定を記入願います。)

受験生側	口頭試問委員側

3. 実施年月日及び時間(予定を記入願います。)

受験生側(現地時間)	口頭試問委員側(日本時間)

4. 実施方法等(記入例を参考に、具体的に記入してください。)

--

年 月 日

主指導教員予定者 殿

連合農学研究科長

上記の口頭試問実施方法による口頭試問の実施を承認します。

(様式第12号)
(Form No.12)

年 月 日

連合農学研究科長 殿

主指導教員予定者

氏名 〇〇 〇〇 印

鳥取大学大学院連合農学研究科
菌類きのこ資源利用科学特別プログラム(博士後期課程)口頭試問実施方法届

志願者 _____ の口頭試問実施方法を下記のとおり届け出ます。

記

(口頭試問実施方法)

1. 口頭試問委員

口頭試問委員名(所属大学)
〇〇 〇〇 (鳥取大学)
△△ △△ (鳥根大学)
□□ □□ (山口大学)

2. 実施場所(予定を記入願います。)

受験生側	口頭試問委員側
Seminar Room (201), Faculty of Tropical Agriculture, Kasetsart University, Bangkok, Thailand	鳥取大学連合農学研究科セミナー室

(※口頭試問結果提出時に報告願います。)

3. 実施年月日及び時間(予定を記入願います。)

受験生側(現地時間)	口頭試問委員側(日本時間)
2020年2月20日 13:00-14:00	2020年2月20日 15:00-16:00

(※口頭試問結果提出時に報告願います。)

4. 実施方法等(記入例を参考に、具体的に記入してください。)

多地点制御遠隔講義システムと受験生所有のパソコンをCisco WebEx / CMR Hybridを利用して接続し、双方向の対面形式で口頭試問を行う。なお、プレゼンテーションに用いるパワーポイントファイルの印刷物については事前に口頭試問委員に配布する。

年 月 日

〇〇 〇〇 殿

連合農学研究科長

上記の口頭試問実施方法による口頭試問の実施を承認します。